



2005年8月3日
株式会社 マルハン
代表取締役社長 鈴木 嘉和

NEWS RELEASE

京都府京丹後市峰山球場にマルハン会長顕彰碑完成

平成17年7月24日、京都府京丹後市の峰山球場にて(株)マルハン代表取締役会長 韓 昌祐の功績をたたえる顕彰碑の除幕式が開催されました。当日は中山 泰京丹後市市長、野球関係者の方、韓 昌祐、市民の方をはじめ約100名が参加。

この顕彰碑は韓 昌祐の長男で、府立峰山高校に在学中に亡くなった韓 哲さんが小学校3年生のときに書いた作文「ぼくのゆめ」が碑文として刻まれている。作文に書かれている「町営グラウンドをつくる」という夢を実現する為に、昭和57年に建設費1億円を峰山町に寄付。平成7年に完成し、今年10周年の節目として功績をたたえられた。

以上

掲載新聞記事は次ページへ

株式会社 マルハン [<http://www.maruhan.co.jp/>]
〒100-6228 東京都千代田区丸の内1丁目11-1
パシフィックセンチュリープレイス丸の内 28階
TEL:03-5221-7004(広報担当:森部・田中・三原)
FAX:03-5221-7174
E-mail: <mailto:toiawase2@maruhan.co.jp>

平成17年(2005年)7月27日 水曜日



顕彰碑前での記念写真の撮影。ボールに向かって右が韓昌祐さん。峰山球場正面前に

「息子のゆめ」韓さんの顕彰碑

峰山球場正面前に建立

京丹後市峰山町の峰山球場正面前に、1億円を寄付して同球場建設のきっかけをつくった同町の名譽町民の韓昌祐さん(京都府京丹後市)の顕彰碑が建立された。24日に韓さんら関係者約100人が出席して除幕式があった。

韓文には高校2年で米國で事故死した韓さんの長男哲吾が、峰山小3年の時に「町営グラウンドをいつか」と書いた作文「息子のゆめ」の題いし、韓さんが実現させた。1988年に1億円を寄付した。建設費は市費と市民の寄付100万円の計200万円。韓さんは15歳の時に来日。バレーボールの事業で成功した。中山泰市長は「峰山球場完成10周年の節目に感謝の気持ちを表した」と喜びを語った。

韓さんは「峰山の自然や文化が大好きな私の子孫です。顕彰碑の完成で今後もしなごりをお大切にしてください」と社説を込めた。

峰山球場建設に貢献

マルハン会長

顕彰碑が完成

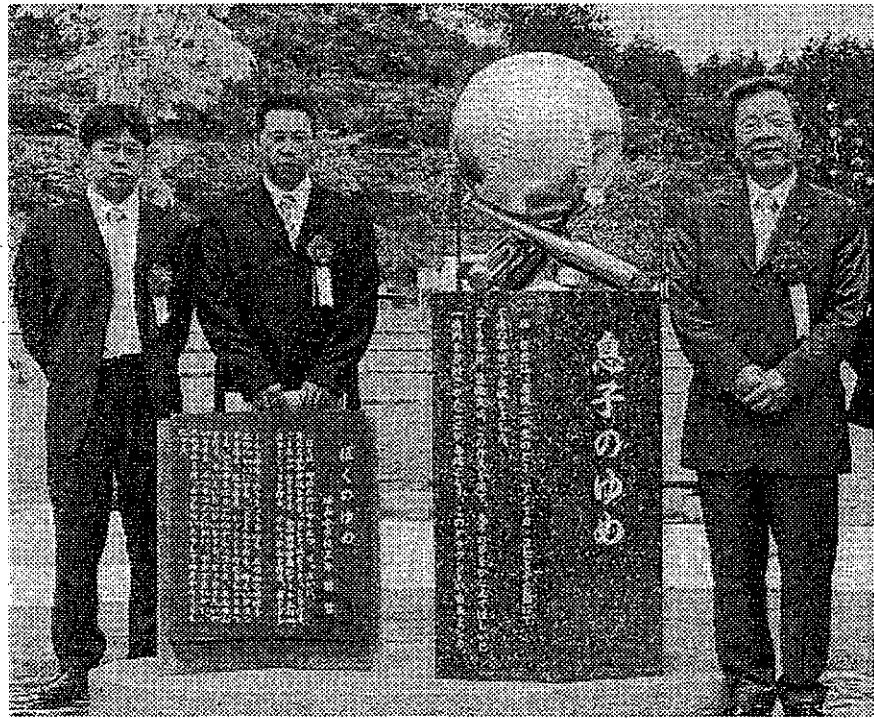
完成十年を迎える京丹後市の峰山球場に、球場建設に貢献したパチンコ・レジャー会社「マルハン」会長の韓昌祐さん(76)＝京都市北区＝の功績をたたえる顕彰碑が完成し、このほど除幕式が行われた。写真。

顕彰碑は高さ一・八メートル、黒御影石の上にステンレス加工のバットとテニスボールを配置。府立峰山高校在学中時

に死亡した長男の哲吾さん(当時)が小学校三年のときに書いた作文「息子のゆめ」が碑文として刻まれている。

韓さんは韓国で生まれ、昭和三十一年に旧峰山町で創業した。哲さんの作文に「町営グラウンドをつくる」とあったことから、同五十七年に建設費一億円を同町に寄付。球場は平成七年に完成し、毎年プロ野球ウエスタン・リーグの公式戦が開催されるなど、本格的な球場として市民に親しまれている。

除幕式は二十四日にお



り、韓さんのほか、中山市民ら約百人が集まった。泰市長や野球関係者、市